

2013年10月24日（木）

去る10月17日に三重県庁にて、東海地域の農業系研究機関が一同に会するイベント「東海地域農業関係試験研究機関連携シンポジウム」が開催されました。当研究所は水稲「きねふりもち」とシクラメン新品種「ムーンルージュ」についてブース展示を行うと共に、「飛騨地域特産エゴマの新品種と新商品開発」と題して、エゴマに関する研究成果について口頭で発表しました。会場には研究者や生産者の他、六次産業化に関心がある企業担当者ら約130人が参加され、当研究所のブースにも多くの方に立ち寄っていただきました。



当研究所の展示ブース



展示に見入る参加者